

目次

[概要](#)

[はじめに](#)

[表記法](#)

[前提条件](#)

[ステップバイステップ手順](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、Global Site Selector (GSS) GSS GUI バージョン 1.0 のパスワード回復手順について説明します。

注 パスワードの回復がある時点で失敗する場合は、CLI から **gss restart** コマンドを発行します。このコマンドを発行すると、このドキュメントのステップ 1 に戻ります。

はじめに

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

前提条件

このドキュメントに関する固有の要件はありません。

ステップバイステップ手順

管理者が GSS 上の GUI の管理ユーザ名とパスワードを忘れた場合は、以下の手順を実行します。

1. CLI にプライマリ Global Site Selector Manager (GSSM) の管理者としてログインします。
2. GSSM 上で **gss status** コマンドを発行します。出力は読まれた GSS 示す必要があります。
3. CLI で「**cd ../apache**」と入力します。
4. ファイル **httpd.conf** をテキスト エディタを備えた外部デバイスに FTP または SCP 送信します。
5. 外部デバイスで、**httpd.conf** を開きます。 **AuthUserFile/cisco/merlot/safe-state/http-users** を **AuthUserFile/cisco/merlot/etc/http-users.default** に変更します。
6. FTP または SCP 経由で編集したファイルを GSS に戻します。注ファイルが正しいディレクトリに戻されたことを確認します。
7. **show processes | grep httpd | killall -HUP httpd** コマンドを CLI で発行します。
8. GUI にログインします。ユーザ名は **admin**、パスワードは **default** です。
9. GUI で [Tools] -> [User Administration] -> [Edit] を使用して (管理者アイコンを選択して)、管理者パスワードを変更します。 [Tools] の下にデフォルト ページとして表示される [Change Password] メニューは使用しないでください。

10. CLI で **gss restart** コマンドを発行して、GSS に新しい管理者アカウントを使用するように強制します。新しい管理者パスワードを使用してログインする前に、次のコマンドを入力する必要があります。再起動が完了するまで数分かかる場合があります (プロンプトがすぐ戻ってくる場合でも)。この間の現在のステータスを確認するには、CLI で **gss status** コマンドを発行します。注GSS が再起動中は、ドメイン ネーム システム (DNS) の問い合わせに応答しません。
11. ステップ 9 で入力したユーザ名とパスワードでログインします。

関連情報

- [コンテンツ ネットワーキング ダウンロード \(登録ユーザ専用 \)](#)
- [コンテンツ ネットワーキング デバイス ハードウェアに関するサポート \(英語 \)](#)
- [テクニカルサポート - Cisco Systems](#)